



2024年6月2日
6月第一主日礼拝式／聖餐式

52 こんな時

こんなとき イエスさまに
愛のうたをうたう

こんなとき 手をあげ
手を主にあげる

主よ愛します 主よ愛します
心こめて愛します

117 小羊イエスよ

小羊イエスよ 愛するきみよ
み前に賛美を ささげます
十字架の愛で 罪ゆるされた
わたしのすべてを ささげます

新聖歌38番 「わが目を開きて」

- 1 わが目を開きて さやに見せ給(たま)え
今まで知らざりし 聖書(みふみ)の真実(まこと)を
* われ今 静かに わが主を待つなり
主よ与えたまえ 悟(さと)りを
- 2 鈍(にぶ)き耳なれど 声をかけたまえ
ただ主の御言葉に 従いまつらなん * (くりかえし)
- 3 主よ わが唇(くちびる) 解(と)きて歌わしめ
たえなる御恵みを 伝えしめたまえ * (くりかえし)
アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌49番 「しみも咎(とが)も」(聖餐式)

- 1 しみも咎(とが)も 汚れもなき
小羊わが主は ほふられしや
- 2 こは わがため 十字(じゅじ)の上に
釘(くぎ)もて裂かれし みからだなり
- 3 こは わがため のろい受けて
流させたまいし 君(きみ)が血なり
- 4 こは わがため 与えたもう
いのちの糧(かて)なり 飲みものなり
- 5 なつかしくも 見失(う)せし主は
まもなく再び 来たりたまわん
- 6 その時まで 十字架を負(お)わん
救いの恵みを 喜びつつ アーメン

新聖歌67番 「わが心は」

- 1 わが心は 天(あま)つ神を尊(とうと)み
わがたましい 救い主を ほめまつりて喜ぶ
- 2 数に足らぬ わが身なれど 見捨てず
よろずよまで さきわいつつ 恵みたもう嬉しさ
- 3 御名は聖く 大御業(おおみわざ)は かしこし
代々(よよ)に絶えぬ みいつくしみ 仰ぐ者ぞ受くべき
- 4 ひくき者を 高めたもう み恵み
おごる者を 取りひしぎて 散らしたもう御力(みちから)
- 5 アブラハムの すえを永遠(とわ)に かえりみ
イスラエルを 忘れまさで 救いたもう とうとさ アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン